



Liaison

VOL .130
2017.2月号

リエゾンとは
つなぐ、関係 (仏)



第93回 地域けんこう講座

今月のお話

腰の痛みに悩まされていませんか?

腰痛は、日本人の国民病と呼ばれるほど多くの人に発症する障害です。特に40～60歳代の中高年に多くみられます。腰痛の原因は、腰の骨や筋肉の障害によるものから、ストレスや他の病気によるものまで様々ですが、全て合わせると日本人の成人90%が、一生に一度は腰痛を経験していると言われます。今回、その腰痛の原因と改善方法を詳しくお話し致します。



- 日 時:平成29年3月4日(土)午後2時～午後3時頃まで
- 場 所:北福島医療センター 1階オーチャードホール
- 講 師:北福島医療センター 麻酔科部長 佐藤欣也 医師

CONTENTS

地域けんこう講座ご案内	1
TV出演情報	1
血液検査の知恵袋	2
栄養サポートチーム紹介	2
リハビリ相談会ご案内	2
教えて!北福島	3
栄養科だより	4
ART探訪	4

北福島医療センターDrがTV出演します!

【血液疾患センター センター長 甲斐龍幸 医師】

日 時:平成29年2月23日(木) 午前9:55～
 番 組:テレビユー福島「げっきんチェック」～健康チェック～
 内 容:『貧血について』

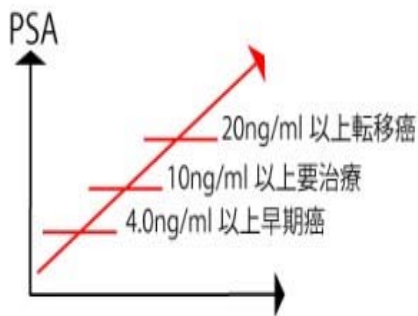
【乳腺疾患センター 副センター長 安田満彦 医師】

日 時:平成29年2月25日(土) 午前11:00～
 番 組:福島テレビ「サタふく」～サタらぼ～
 内 容:『乳癌検診について』



血液検査の知恵袋

担当 検査科 T.T



男性特有の病気に注意を！！

血液検査の知恵袋と称して、2月号ではPSAという腫瘍マーカーをご紹介します。

何の腫瘍マーカーか分かりますか？
これは、『前立腺癌の腫瘍マーカー』です。



前立腺癌とは、50歳を過ぎた頃から明らかになります。症状は頻尿、排尿困難、残尿感などがあります。初期は無症状でPSAが軽度上昇します。末期には血尿、骨転移と怖い病気に発展する可能性があります。男性であれば、一度は検査したい項目です。

栄養サポートチーム専門療法士を取得しました

「栄養サポートチーム専門療法士」は主に静脈栄養と経腸栄養を用いた臨床栄養学に関する一定の知識と技能を習得したことを認定する資格です。認定対象国家資格を持ち、5年以上医療福祉施設に勤務し、さらに日本静脈経腸栄養学会へ参加、研修30単位の取得、40時間の実施修練を修了し、初めて試験を受けることができます。現在、北福島医療センターでは、看護師1名、言語聴覚士1名、管理栄養士2名が取得しています。

「今後は、患者様の病態をよく理解し、栄養サポートをすることで患者様の早期退院に繋がるよう、頑張ります！」

【認定者：北福島医療センター 栄養科 渡邊淳子】



第3回リハビリ相談会のご案内

当院の作業療法士のご紹介

当院での作業療法士の役割は、肩や手の骨折・脳梗塞の後遺症で片麻痺により、食事や着替えなどの生活動作に支障をきたした方々に対し、肩・腕を動かす運動や手先の運動を行います。

また、動作を簡単に行うための道具(補助具)の提案をして改善を目指し、患者様・ご家族様が退院後の生活をイメージしやすいように支援をしています。



第3回 リハビリ相談会

骨折や脳卒中の後遺症により、日常生活でお困りではありませんか？または周りに困っている方がいませんか？

- ごはんを食べるときに、箸が持ちにくい、茶碗が持ちにくい…
- 着替えをするときに、腕を通しにくくなった、ボタンが留めづらくなった…など



専門のスタッフがご対応いたしますので、お気軽にご相談下さい。
相談担当：作業療法士 笠原 美咲

日時：平成29年2月27日(月)

9:30～11:00 (予約制 1人約20分程度)

場所：北福島医療センター
オーチャードホール



内容：『日常生活動作をより良くするコツ』

参加方法：電話または2階リハビリテーション科にて、
2月24日(金)までにお申し込み下さい。

問い合わせ先：北福島医療センター リハビリテーション科
【担当】 PT佐藤 OT佐久間 ST鈴木(綾)
【電話】 024-551-0270(直通)
【受付時間】 月～金 9:00～17:00

※定員になりしだい、予約を終了させて頂く場合がございます。

北福島医療センターの気になることをQ&Aで紹介します！

教えて！ 北福島



知りたがり屋
仁くん

このコーナーは北福島のことなら何でも知りたい“仁くん”が毎回異なる部署のゲストを呼んで、北福島医療センターの中の知らない検査、わかりにくい情報などをQ&A形式で紹介していきます。今回は血液型について歴史を交えて、検査太郎さんがお話したいと思います。意外に知らない事があるかもしれませんね。



今回のゲスト
検査太郎さん

第3回 知ってるようで知らない血液型の世界

検査太郎(以下検): 今、日本で約3,000人もの方が毎日輸血を必要としていることを知ってましたか??

仁: 3,000人(驚)! 街頭などの方が多く集まる所で献血活動してるね。最近、献血行っていないかも(汗)

検: 献血は、助け合い。だから、進んで献血に参加して行くことで、社会貢献になるんだよ。

仁: そうだね。自分も輸血が必要な病気になるかもしれないし、早速行こうと思う(汗)

検: そこで、今日は血液型についてお話すんだけど、自分の血液型はわかるかな??

仁: 私は自由奔放なB型です(笑)

検: それはどうやって検査してると思う??

仁: ん～～(困)

検: 今日は血液型についてお話すね。そもそも血液型が発見されたのが、19世紀に入ってからなんだよ。

仁: へ～～(驚) わりと最近の話だと思ってたよ。

検: 初めて輸血が行われたのは17世紀のフランスで、子羊の血液を人に輸血した記録が残ってるよ。17世紀にはまだ血液型の概念もなく、輸血をすると死亡者が後を絶たなくて輸血禁止令が出されてしまったんだよ。

仁: 現代では、皆自分の血液型を知ってるし、同じ血液型同士で輸血する事は常識になってるよね。

検: そうだね。19世紀になってようやくオーストリアのランドシュタイナーという学者が血液型を発見したんだよ。

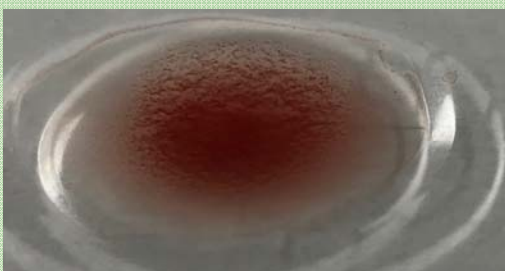
仁: 輸血してから200年もかかったんだね(驚) 検査はどうやるの??

検: まずは血液型を調べたい人の血液を遠心して、血球と血漿(血球以外のもの)に分離させるんだよ。そして、調べたい人の血球に、A型の血球に反応する抗A、B型の血球に反応する抗Bを添加すると、写真のように凝集(ぶつぶつしたところ)したのがその人の血液型というわけさ。凝集しないのがO型ね。ちなみにAB型はどっちも凝集するよ。

仁: こういう検査をしてるんだ(驚) 運を天に任せる輸血をしていた時代が怖いね(涙)

検: そうだね。検査の大事さがよくわかったかな??

凝集



非凝集



栄養科だよ！



～1月の行事食紹介～

正月の給食は大盛り上がり！！

おせち料理・三日とろろ・七草粥・成人式
の「お祝い膳」と1月は行事が目白押し！

入院されている患者様にも新春の息吹
を感じて頂けるよう、まかないチームは張り
切りしました。



～今月のイベント紹介～

1月16日(月)、4階ひかり病棟で患者様と管理栄養士が、
白玉ぜんざいを作りました。皆様は手先が器用で、喉越し
の良いツルルンとした白玉団子が完成しました！！

患者様が「3時に美味しいものを食べたから、明日からの
治療を頑張れる」と話された時、スタッフの心がほっこりと
しました。



ART 探訪 -北福島- 番外編 箱崎の空から 2017年1月末日

自然に恵まれた北福島医療センターの近辺には四季折々を感じるスポットが多くあります。VOL.3
今回も北福島スタッフがおすすめする季節の景観を紹介していきます。



撮影場所：P3駐車場西側の庭

1年でいちばん寒さの厳しい時期、春の便り
が待ち遠しいですね。

ここ伊達町も雪が降り、寒さが一層厳しく感
じる今日この頃ですが、雪と阿武隈急行の風
情ある電車との組み合わせも、この時期なら
ではの「絵」になる景観ではないでしょうか。

インフルエンザも大流行しているこの時期
です。体調にはくれぐれもお気を付け下さい。

今回担当 検査科 T



公益財団法人

北福島医療センター 理念

仁泉会

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 広報委員会

E-mail jmo@jinsenkai.or.jp

TEL 551-0551 FAX 551-0808

URL <http://www.jinsenkai.or.jp>